

## 宮古島市平良字西原の「フツビューイヌサウヂィ」(大日選りの精進)

上原孝三

### 1. はじめに

宮古島市平良の字西原集落(福山を除く)において、「フツビューイヌサウヂィ」(大日選りの掃除)祭祀が、2016年7月17日(日)に行われた。本報告は、その時の調査・調査ノートと後日の聞き取り調査に基づくものである。

フツビューイヌサウヂィの数日後には、字長の家で粟(実際はマインチィ・米の神酒)の神酒作りが行われる。この儀礼を「ンチィタリ」(神酒垂れ)という。ンチィタリの後日が「フツビューイ」(収穫祭)当日になる。村を挙げての祭りになる。つまり、「フツビューイヌサウヂィ」・「ンチィタリ」・「フツビューイ」は一連の祭祀になるのである。

「フツビューイ」は語義的には「大日選り」(注①)で大祭りの意だが、実際には粟の収穫祭である。「サウヂィ」を西原の人々は「(御嶽と御嶽周辺の)掃除」と考えているが、「サウジィ」には「精進」の意味合いもある。

以下、西原の「フツビューイヌサウヂィ」の祭祀儀礼の目的・日時・場所・参加者・祭祀の概要などを示す。

### 2. フツビューイヌサウヂィ祭祀の目的

フツビューイヌサウヂィの目的は主に以下の通りである。

- ① フツビューイ(粟の収穫祭)に向けた粟の豊作祈願と清掃。
- ② 5カ所の御嶽を掃除するに当たっての神への許可。御嶽内と御嶽周辺の草木の伐採。
- ③ 数え年16歳の高校生の村行事への参加。16歳はかつての人頭税時代の納税者の対象「正人」の年に当たる。つまり、大人になったことを認定するこれは通過儀礼の一つになる。
- ④ ①・②とは別に、神役を含めたフツビューイヌサウヂィに参加した人々が、祭祀実施中けがをしないよう、あるいは御嶽敷地内で転ばずに無事終了するよう祈願する。御嶽敷地内で転倒するとその人は、祭祀終了後に個人的祈願である「タシィキニガイ」(助け願い)をしなければならないからである。

### 3. 祭祀の日時

毎年旧暦5・6月にフツビューイヌサウヂィ祭祀を実施。字長の干支に合わせて吉日を選ぶ。2016年は実施日が7月17日(旧暦6月14日)に当たっていた。

午前7時頃からウーンマヤー(大母の家)で祭祀儀礼が始まり、午後1時過ぎに終了したが、20

07・2011・2013・2016年の4カ年のフッピーイヌサウヂィ・ンチィタリ・フッピーイの実施日を記すと以下ようになる(各年の現地調査ノートに拠る)。

	フッピーイヌサウヂィ	ンチィタリ	フッピーイ
2007年	7月22日(日)	7月25日(水)	7月26日(木)
2011年	7月10日(日)	7月12日(火)	7月13日(水)
2013年	7月21日(日)	8月16日(金)	8月17日(土)
2016年	7月17日(日)	7月20日(水)	7月21日(木)

フッピーイヌサウヂィを日曜日に設定したのは、高校生が参加しやすくするため、そして多くの参加者の確保を意図している。また、フッピーイヌサウヂィをンチィタリ(神酒垂れ)、つまりフッピーイの前日に行うのは、ンチィ(神酒)が発酵し過ぎるのを防ぐためである。

#### 4. 祭祀の場所

祭祀儀礼の場所は大きく言って二つに分けられる。一カ所は、ウーンマヤー(大母の家)。

もう一カ所は、村の5カ所の御嶽である。掃除の対象となる御嶽は、ウハルヂィウタキ(大主嶽)・ヤマトウウタキ(大和御嶽)・ナイカニウタキ(ナイカニ御嶽)・ウヅヂィキウタキ(ウヅヂィキ御嶽)・トウクガンミウタキ(トウクガン嶺御嶽)の5カ所の御嶽である。

掃除の順序は、①ウハルヂィウタキ(大主御嶽)→②ヤマトウウタキ(大和御嶽)→③ナイカニウタキ(ナイカニ御嶽)→④ウヅヂィキウタキ(ウヅヂィキ御嶽)→⑤トウクガンミウタキ(トウクガン嶺御嶽)となる。

なお、神役は最終のトウクガン嶺御嶽から最初に掃除したウハルヂィ御嶽へ向かう。拭き掃除をして乾燥させてあった祭祀用の莫菴や筥を片付けに行く。その後、ウーンマヤーに戻る(注②)。

#### 5. 参加者—神役や字長などの役割

祭祀への参加者は神役や字長・各支部の班長などである。それに数え16歳の人に加わる。祭祀に参加出席できない16歳の方は代理人を立てる。たいていはその人の父母のどちらかが代理人となる。なお、班長や16歳の男女など、不都合で参加できない時、例えば忌中・法事などの場合は参加を見合わせる。

<参加女性> ・ナナムイヌンマ(七杜の母) 4人

神役 ウーンマ(大母)、アークシィンマ(歌を謡う母)、ウーンマヌトゥム(大母の供) 以上3人

マドゥパー(神役ではないナナムイヌンマ・七杜の母) 1人

\*マドゥパーはマドゥンマともいう。

・字長の妻(字長の娘も手伝いで参加した)

- ・ 数え16歳の女性
- <参加男性>
  - ・ 字長 1人
  - ・ 班長会長 1人
  - ・ 字の東西南北の各支部の班長 10人
  - ・ 数え16歳の男性

神行事を担うのは多くは女性祭祀者である。祭祀儀礼を執行するには、その核・中心となる神役の選出・選定は必要である。西原では年間45の村落祭祀があるが、それらの祭祀で主導的な役割を果たすのが、ナナムイヌンマ（七杜の母）から選出されたハナヌパー（上の姥。ハナムンマ／上の母ともいう）である。即ち、フヂカサ、アーグシンマ、ナカヂカサ、フヂカサヌトゥム、アーグシンマトゥムの5人であった。

2016年現在、ナカヂカサ、アーグシンマトゥムの神役（二人）は不在である。従って、神役は3人である。以下、神役の名称・職能・任期・人員を概説する。

#### 《女性神役》

【フヂカサ】大司。通称ウーンマ（大母）。最高神女。村落祭祀における中心的な神役である。

祭祀儀礼を執行する際に主祭者としての役割を担う。任期3～5年。1人。

【アーグシンマ】歌を謡う母。カンカカリヤ（神懸かる者）、サシィ（佐司）、アーグシャー（歌を謡う者）、ムヌシィー（物知り）など多くの名称を持つが、現在はアーグシンマと呼ばれるほうがほとんどである。カンチカサ（神司）ともいう。

この神役はかつては村落の霊的職能者ムヌシィーから選出していた。神懸かりがが専門であり、祭祀儀礼執行中神懸かり状態になり、カンガカイヌアーグ（神懸かりの歌）を謡った、という。それ故アーグシンマ・アーグシャーと呼ばれたのである。

線香の燃え具合から物事・人事の吉凶の占いをするのもこの神役の仕事の一つとされる。任期3～5年。1人。

【ナカヂカサ】中司。通称ナカバイ（中栄え）。カンニガイ（神願い）の時、神への供物が過不足がないように準備し、供える役目をする。中司はフヂカサ、アーグシンマの補佐もする。

また、フヂカサヌトゥム・アーグシンマトゥムと三人一緒に行動し、祭祀儀礼がスムーズに行えるよう諸雑務をこなしたり、様々な手続きをこなす。任期終了の半年後、ナカバイニガイ（中栄え願い）を行う。任期1年。1人。現在、不在。

【フヂカサヌトゥム】大司の供。ウーンマヌトゥム（大母の供）ともいう。ナカヂカサ・アーグシンマトゥムとともにこの3役はトゥムンマ（供母）とも称される。ナカヂカサ、アーグシンマトゥムと一緒に踊ったり、祭祀儀礼がスムーズに行えるよう諸雑務をこなしたりする。祭祀の開始前・終了後にフヂカサの送り迎えも行う。任期1年。1人。

【アーグシンマヌトゥム】歌を謡う母の供。ナカヂカサ、フヂカサヌトゥムと一緒に踊ったり、祭祀儀礼がスムーズに行えるよう諸雑務をこなしたりする。また、祭祀の開始前・終了後にアーグシンマの送り迎えも行う。任期1年。1人。現在、不在。

ハナヌパーの中でも序列があり、縦の関係を形成している。また、ナカディカサ・フディカサヌトゥム・アグシンマヌトゥムの3人は、基本的には同年齢(同級生)であり、フディカサとは年も離れていて、フディカサに仕えることから擬似的な親子関係になる。

フディカサとアグシンマは祭祀集団を統率するリーダーである。リーダーとしての支配の正当性や宗教的権威が村落社会からも認められており、女性祭祀集団内における紛争処理も成員やそれを取り巻く社会によって承認されている。しかし、近年はナナムイに加入する人数が減少した。2016年現在で4人である(現在、ナナムイヌンマに出る人がいないため、かつての神役経験者が中心になり、祭祀を実施している)。

ここで、男性の役職などを概略する。

#### 《男性の名称・役職など》

字長・ソームシュー(総務主) 字長は総務主とも言われる。任期1年。1名。字長には村の資産管理・運用が委ねられる。部落総会開催の権限を持つ。また、ムラの村落祭祀・行事がスムーズに行えるよう各支部の班長に指示を出し、各戸・その家族の人数分の割当金の徴収なども行う。割当金はフツバイディン(大割り金。分担金)という。

字長前年度の収支・支出を元に本年度の予算書を作成する。字長には字長としての部落からの報酬金もあるが、それは殆んど部落に還元される。字からの報酬金も結局は部落や班長のために用い、肉体的・精神的にボランティア活動のような様相を帯びてくるのであまり成り手がいない。従って、家族の理解・協力無しでは字長職を遂行できない。

自治会長 現在では字長と自治会長を兼務することが多い。任期1年。1人。字長は、部落の行事や祭祀の準備や班長達への連絡を行う。

自治会長は宮古島市の行政嘱託員である。市役所の事務担当員で、市役所内では、行政連絡員と称される。市役所と部落とのパイプ役となる。

部落総会にて申請・認定される。それを受け、西原出身の市議員から推薦される形式で、推薦書が市役所に提出される。かかる手続きを経て、その年の三月中に市役所から認定される。役所から認定され、その結果を受け最終的には部落から認定され、四月から正式な行政嘱託員となる。

自治会長の仕事は報酬があるので立候補者は多い。自治会長仕事の例として、

- ① 農薬の受付・配布
- ② 家畜(牛・馬・鶏など)の頭数の調査・報告
- ③ 毎月の宮古島市広報や健康診断案内の配布
- ④ 農家の生産品目・野菜の出荷の有無
- ⑤ 村の事業導入の申請(例えば街灯や排水の適宜などを図る作業)
- ⑥ 道路改修の申請

などが挙げられる。

行政嘱託員なので役所から手間賃が支給される。部落経営をするために字長が家からお金を持ち出してようになったので、その負担金を賄う意味でもいつの時代からか、字長は自治会長を兼務するようになった。

班長会長 班長の中から選出される。責任感が強く、班長達から信頼される人物。班長達の話し合いで決めることになっているが、多くの場合字長やウーンマなどから依頼される。

班長 班長は東西南北の支部に配置されている。東支部は2人、西支部は3人、南支部は4人、北支部は2人(かつては3人)いる。任期は1年。班長は全員で11人。

各支部に、その区切られた範囲内で順次1年ごとに輪番制となる。東支部は2つの班、西支部は3つの班、南支部は4つの班、北支部は2つの班(かつては3つの班)があることになる。

村落祭祀・行事がスムーズに行えるよう御嶽の掃除や草木の伐採を行う。また、祭祀などに用いる供物などの準備・手配や割当金の徴収なども行う。割当金は班長から字長に届けられる。班長を束ねる者として、班長の中から班長会長が選出される。班長会長は班長に仕事の連絡を行う。

## 6. 祭祀の準備

神役は米・塩・酒・線香などの分量や数を確認し、必要ならば買い出しに出かける。また、祭祀に必要な不可欠な祭祀用具・器具を点検する。字長は祭祀に向け諸道具を揃え、缶のお茶や水など必要な品を買い出しに行く。また、神役を含めた参加人数分の弁当を注文するのも字長の役目である。

### 6-1 <神役が準備する物>

祭祀に用いる用具。米・塩・酒(泡盛)・白い紙(書道に用いる紙)・芭蕉の葉など。また、祭祀参加者全員が神御嶽で朝ご飯をするので、ウーンマ・アグシンマ・ウーンマヌトゥムはそれぞれ三つの重箱を準備する。

神役3人は、マミスイマイ(豆添え米。赤飯。大きなおにぎりにする)を5個つめた重箱。野菜炒め・イカやエビの揚げ物などおかずの重箱。刺身の重箱。供物用のお菓子、バナナ、アメ玉などを準備する。

### 6-2 <字長が準備する物>

掃除道具等：草刈り機(3台)、ガソリン(草刈り機用)、竹箒、手鋸、鎌、手押し車(四輪)など。

その他準備：飲料水用水缶(5缶)、飲み物(5ケース)、冷却用氷、飲料水用氷(5袋)。弁当(参加人数分)、クーラーボックス(大2)、タオルなど。

### 6-3 <班長が準備する物>

道具等：鎌・作業用手袋・飲み物・タオル

## 7. 祭祀の概要

フツビューイヌサウヂイ祭祀は、フツビューイ祭祀のために御嶽を掃除することにある。ウーンマヤーから始まり、五カ所の御嶽を掃除し、再びウーンマヤーに戻る。従って、祭祀の主な場所は御嶽である。

掃除の対象となる御嶽は、ウハルヂイウタキ・ヤマトウウタキ・ナイカニウタキ・ウツヂイキウタキ・トゥクガンミウタキの五カ所の御嶽であるが、基本的に各御嶽で行う儀礼の手続きは決まっている。

①ウーンマを先頭に御嶽に入る。②神役はイビに横一列になりしゃがむ。そして、イビに向かい、祭祀の目的を述べ、掃除の許可の祈願をする。③アークシンマが手をつけてから全員で草木などを掃除する。④掃除が完了すると、再び神役はイビに横一列になりしゃがみ、感謝の祈願をする。⑤再びウーンマを先頭に御嶽から出る。

五カ所の御嶽では必ずアークシンマから手初めてから掃除を始める。五カ所の御嶽の掃除を終了すれば、フツビューイヌサウヂイ祭祀は目的を達成する。御嶽から御嶽への移動は、すべて車である。

神役は午前7時頃にはウハルヂイ御嶽に到着し、字長や班長は午前8時にウハルヂイ御嶽に集合。神役は字長達より1時間前に御嶽に入るのは、祭祀のスムーズ化を図るとともに、フツビューイヌサウヂイの祈願と参加者全員の安全祈願を行うためでもある。

### <祭祀儀礼場所①> ウーンマヤー（大母家）朝7時頃

チャーユーイ（お茶祝い） ウーンマヤーの一番座敷祭祀の開始報告と目的達成と無事終了の祈願。

家における祭祀では、チャーユーイ（お茶祝い）から始まる。湯飲み茶碗を両手で持ち、ウーンマとアークシンマが、「タウテー（尊い）」と発語してから一口飲み、それぞれ独りごちるようによく小聲で祭祀の開始報告と目的達成と無事終了の祈願詞を唱える。お茶を飲む行為をチャーユーイ（お茶祝い）という。祈願なかの願いの言葉をフチユン（口誦み）と称す。

祈願が終了すると、神役3人は手分けして祭祀に用いる用具や供物、重箱などを乗用車に積む。

乗用車を運転するのはアークシンマ。ウーンマは助手席に乗る。ウーンマヌトゥムは後部座席と決まっている。荷物の確認をしてウハルヂイ御嶽へ向け出発する。ウハルヂイ御嶽はウーンマヤーから徒歩でも3分程度。

### <祭祀儀礼場所②> ウハルヂイ御嶽（大主御嶽）

<ウハルヂイ御嶽入り口> 午前7時8分頃。全員横一列に並び、頭を下げる。

午前7時12分頃、ウーンマを先頭に大主御嶽に入る。ウーンマを先頭に御嶽内に入る。

<ウハルヂイ御嶽 神庭・イビ周辺> 午前7時10分頃

ウーンマから、イビとウドゥヌ（御殿）内にあるツジュ（地炉）に手を合わせる。参加者の女性は全員ウーンマに倣う。字長など幾人かの男性は、御嶽入り口に積んである缶ジュウスやタオルをウドゥヌの入り口まで運ぶ。

参加者全員で掃除をする。ウーンマはイビとその周辺を手で木の葉やゴミを拾いきれいにする。

アーグシンマは、イシヌウヤ（石の親）、ミジヌヌシ（水の主）のイビとその周辺をきれいにし、ウドゥヌの北側から水タンク辺りまでを清掃する。参加者は、ウドゥヌの南側から灯籠辺りまで、箒を用い清掃する。

ウーンマとアーグシンマは、ムッス（筵）を敷き米・塩・酒などの供物を並べる。この行為をブンビシ（盆居せ）という。ブンは盆の意だが、お膳のようなもの。ビシとは居せの意で、供えること。供物などは元神役経験者が点検・確認する。供えた場所・位置が正しいかどうか、あるいは供物に過不足があってはならないからである。

カウ（香。線香）を集め、束にする。カウはウーンマの前に置く。神役の分のカウは別に束ね、ウーンマの前に置く。さて、神役の行動である。ウドゥヌの外にあるシン（下）という場所でカウに火をつける。ウーンマがカウル（香炉）に燃えたカウを据え、自分の席に戻ってくる。ンマンナカユーイ（煙草祝い）を行ってから、カンニガイ（神願い）に入る前に、ウハルディ御嶽のブンビシブドゥ（盆居せ踊り）をする。

ウハルジウタキヌ ブンビシブドゥイ（盆居せ踊り）（注③）

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1, どうゆたがきゅーぬ      | 自分たちの今日の         |
| は一たがきゅーぬ ゆらまいやよー  | 姥達の今日の 寄り合いは     |
| にがいゆあがらさ          | 願いを揚げよう          |
| 2, かんむどう なーぎー     | 神を 名揚げ           |
| やぐみゃー なーぎー        | 神を 名揚げ           |
| なやぎゅーとうい          | 名揚げていて           |
| にがいゆあがらさ          | 願いを揚げよう          |
| 3, うはるちいがなつすどう    | 大主加那志を           |
| かんばなう とうゆましゅーら    | 神上（最高神）を 鳴響まそう   |
| にがいゆあがらさ          | 願いを揚げよう          |
| うはるちい がなしいぬどう     | 大主加那志が           |
| うーみゆきばい ふやぐみやらまいば | お見受け栄え 大神であられるので |
| ちいむすり んみすり        | 肝を揃え 胸を揃え        |
| やぐみゅー なーぎゅーらー     | 神を 名揚げていよう       |
| やぐみゃー なーぎー        | 神を 名揚げ           |
| かんばな とうゆまさ        | 神上（最高神）を 鳴響まそう   |

1節目は、ウーンマが立ち上がり踊る。2節目は、アーグシンマが踊り、3節目はウーンマとウムが踊る。囃子の「ニガイユアガラサ」は踊り手が謡う。最後の歌詞「ヤグミャー ナーギー／カンパナ トゥユマサ」は、踊り手のみならず、ナナムイヌンマ全員で唱和する。

カンニガイ（神願い）が始まる。各自思い思いに祈る。それから、10分ほどでカンニガイが終了すると、ハイをする。ハイとは指の腹で地面を軽くトントントンと叩く行為である。ウーンマとアーグシンマは、イビ（キンクヌシ）のハナ（米・塩・酒）を供える。

神役3人でカギニガイヌユーイ(美しい願いの祝い)を行う。ダイ(ダイ)のダイサカヂイキ(台盃)に酒を満たせたウーンマヌトゥムが、

「ジャー ンマ キューヌ ビーディングムイヌ カギニガイヌ カギサウヂイヌ フンマ  
ジャキュー カミー フィーサマティ」(さあ ウーンマ 今日の 日選りの掃除の 美しい  
願いの掃除の 大美味酒を 頂いてください)

とウーンマに口上を述べる。ウーンマはダイを受け取り、ダイサカヂイキ酒を一口ずつ含む。ダイをウーンマヌトゥムに返す。ウーンマヌトゥムは酒をダイサカヂイキに注ぎ足し、

「カサナイマイ カサナイマイ カミー フィーサマティ」(重ねても 重ねても 頂いてくだ  
さい)

と言って、ウーンマに差し出す。ウーンマは再びダイを受け取り、2個のダイサカヂイキの酒を一口ずつ含む。ウーンマが終わると、今度はアークシィンマの番である。

ダイ(台)のダイサカヂイキ(台盃)に酒を満たせたウーンマヌトゥムが、

「ジャー アークシィンマ キューヌ ヒューイヌサウジィヌ カギニガイヌ カギサウヂイ  
ヌ フンマジャキュー カミー フィーサマティ」(さあ アークシャ 今日の 日選りの掃  
除の 美しい願いの掃除の 大美味酒を 頂いてください)

とアークシィンマに口上を述べる。アークシィンマはダイを受け取り、ダイサカヂイキ酒を一口ずつ含む。ダイをウーンマヌトゥムに返す。ウーンマヌトゥムは酒をダイサカヂイキに注ぎ足し、

「カサナイマイ カサナイマイ カミー フィーサマティ」(重ねても 重ねても 頂いてくだ  
さい)

と言って、アークシィンマに差し出す。アークシィンマは再びダイを受け取り、2個のダイサカヂイキの酒を一口ずつ含む。

ウーンマヌトゥムは自分で酒を注ぎ飲み、カサナイガミマイ(重ねても)も自分で行う。次は、ミュー  
トゥチャバンジャキ(夫婦茶碗酒)である。ウーンマとアークシィンマが対になる。ダイのダイサカ  
ヂイキ(2個)に酒を満たせたウーンマヌトゥムが、

「キューヌ ヒューイヌサウジィヌ ンマザキュー カミー フィーサマティ」(今日の 日選  
りの掃除の 美味い酒を 頂いてください)

と言うと、ウーンマとアークシィンマが1個ずつ取り、一口含む。アークシィンマヌトゥムが酒を注ぎ足し、

「カサナイマイ カサナイマイ カミー フィーサマティ」(重ねても 重ねても 頂いてくだ  
さい)

と言うと、ウーンマとアークシィンマが1個ずつ取り、一口含む。今度はアークシィンマとウーンマ  
ヌトゥムが対になる。上記に述べたことを繰り返す。

ダイのダイサカヂイキ(2個)に酒を満たせたアークシィンマヌトゥムが、

「キューヌ ヒューイヌサウジィヌ ンマザキュー カミー フィーサマティ」(今日の 日選  
りの掃除の 美味い酒を 頂いてください)

と言う。アークシィンマとウーンマヌトゥムが1個ずつ取り、一口含む。ウーンマヌトゥムが酒を注ぎ足し、

「カサナイマイ カサナイマイ カミー フィーサマティ」(重ねても 重ねても 頂いてください)

と言うと、アグシンマとウーンマヌトゥムが1個ずつ取り、一口含む(以下、残りの四つの御嶽でも同様なことが行われるが、省略したい)。ミュートゥチャバンジャキ(夫婦茶碗酒)が済むと、ダイサカヂキ(2個)に酒を注ぎ足し、字長と班長にも差し出す。カサナイガミマイも行う。そして、同じように参加者全員が酒を一口ずつ飲むのである。

カギニガイヌユーイヌブンビシブドゥイが終了すると、朝ご飯になる。全員で車座(楕円形)になり、神役3人が拵えたお重を頂くことになる。

席上字長が、フンビューイ当日の班長の行動の段取りを行う。五カ所の御嶽にカミ(瓶。神酒を入れた瓶)をそれぞれ所定の定められた場所に置くので、集合時間・場所の確認をする。

歌詞と踊り手の関係は、「ウハルジウタキ(大主御嶽)のブンビシブドゥイ」と同じであるが、4節目のみ参加者全員で躍る。

食事が終了すると、班長達は掃除に取りかかる。神役達は、早朝よりお重の準備等で疲れていること、またこれからの労働を考えて休憩時間にする。休憩を終えると、祭祀用に用いる莫塵や箆を拭き陽の当たる場所に干す。

コンクリートを敷いた通り道に苔が生えヌルヌルしている所は、水をかけ滑らないよう手を施しきれいにする。

さて、神役の行動である。ウドウヌの外にあるシン(下)という場所でカウに火をつける。ウーンマがカウル(香炉)に燃えたカウを据え、自分の席に戻ってくると、カンニガイ(神願い)が始まる。各自思い思いに祈る。

10分ほどでカンニガイが終了すると、ハイをする。ハイとは指の腹で地面を軽くトントントンと叩く行為である。ウーンマとアグシンマは、イビ(キンクヌシ)のハナ(米・塩・酒)を供える。

供え終えて、自分の席に戻ると「カギニガイヌユーイヌブンビシブドゥイ」(美しい願いの祝いの盆居せ踊り)をする。ウーンマとアグシンマが酒を飲み交わすのである

1節目は、ウーンマが立ち上がり踊る。2節目は、アグシンマが踊り、3節目はウーンマヌトゥムが踊る。囃子の「ニガイユアガラサ」は踊り手が謡う。歌詞と踊り手の関係は、「ブンビシブドゥイ」と同じであるが、4節目のみマドゥパーと参加者全員で躍る。最後の歌詞「ヤグミャー ナーギー／カンパナ トゥユマサ」は、踊り手のみならず、ナナムイヌンマ全員で唱和する。

#### カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1, どうゆたがきゅーぬ     | 自分たちの今日の     |
| は一たがきゅーぬ ゆらまいやよー | 姥達の今日の 寄り合いは |
| にがいゆあがらさ         | 願いを揚げよう      |
| 2, かんむどう なーぎー    | 神を 名揚げ       |
| やぐみャー なーぎー       | 神を 名揚げ       |
| なやぎゅーとうい         | 名揚げていて       |
| にがいゆあがらさ         | 願いを揚げよう      |

3, うはるちいがなつすどう  
 かんばなう とうゆましゅーら  
 にがいゆあがらさ  
 うはるちい がなしいぬどう  
 うーみゆきばい ふやぐみやらまいば  
 ちいむすり んみすり  
 やぐみゅー なーぎゅーらー  
 やぐみゃー なーぎー

4, かんむどう なーぎ  
 やぐみゃー なーぎー  
 なやぎゅーとうい  
 にがいゆあがらさ  
 がんじゅうさうまい  
 どうゆじゅうさうまい  
 ぶいでいしい はーたーよー  
 にがいゆあがらさ  
 ちいむすり んみすり  
 やぐみゅー なーぎゅーらー  
 やぐみゃー なーぎー  
 かんばな とうゆまさ

大主加那志を  
 神上(最高神)を 鳴響まそう  
 願いを揚げよう

大主加那志が  
 お見受け栄え 大神であられるので  
 肝を揃え 胸を揃え  
 神を 名揚げていよう  
 神を 名揚げ  
 神を 名揚げ  
 名揚げていて  
 願いを揚げよう  
 頑丈さをも  
 胴強さをも  
 祝おう お姥さんたち  
 願いを揚げよう  
 肝を揃え胸を揃え  
 神を名揚げよう  
 神を名揚げ  
 神上(最高神)を鳴響まそう

終わるとブンビシを片づけ、しばらく休む。そして、ナイカニ御嶽へ向かう。

<祭祀儀礼場所③> ヤマトウ御嶽 午前9時30分～10時25分頃

ヤマトウ御嶽はウハルヂイ御嶽から北西方向にある。徒歩5分頃の距離であるが、道が草木に被われているので時間を要する。

ウーンマを先頭に御嶽内に入る。神役は御嶽内の神庭でイビに向かいしゃがむ。左側からウーンマ・アークシィンマ・ウーンマヌトゥムが横一列になり掌を上を受けて、掃除を始める旨の祈願を行なう。

ヤマトウ御嶽は香炉が2個ある。ウーンマは手で香炉周辺から掃除を始める。香炉周辺は鎌や草切り機などを用いてはならない決まりになっている。アークシィンマとウーンマヌトゥムは神庭に生えている草を引き抜き、神庭に覆い被さっている木の枝を伐採する。その後、男の班長なども神庭内に入り、草切り機で草木を切り取る。切り取った草木は、御嶽周辺に捨てる。午前10時25分頃にヤマトウウタキの掃除終了。

カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ

1, やまとうぬ かんむどう 大和の神を

うじゃきぬ ぬっすどう	お酒主を
なやぎゅーらでい	名揚げよう
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
2, まむいがん	マムイ神
ちいくいがん	聞こえ神を
なやぎゅーらでい	名揚げよう
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
3, うふらだちい	大浦村
うふやぐみ	大神を
なやぎゅーらでい	名揚げよう
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
4, かんむどう なーぎー	神を名揚げ
やぐみゅー なーぎー	神を名揚げ
なやぎゅーとうい	名揚げていて
にがいゆあがらさ	願いを揚げよう
がんじゅうさうまい	頑丈さをも
どうゆじゅゝさうまい	胴強さをも
ぶいでいしい は一た一よー	祝おう お姥さんたち
にがいゆあがらさ	願いを揚げよう
ちいむすり んみすり	肝を揃え胸を揃え
やくみゅー なーぎゅーらー	神を名揚げよう
やぐみゃー なーぎー	神を名揚げ
かんばな とうゆまさ	神上(最高神)を鳴響まそう

1 節目は、ウーンマガ踊る。2 節目は、アークシィンマが踊る。3 節目は、ウーンマヌトゥムが踊る。4 節目はマドゥパーが踊る。謡い方・踊り方は、ウハルジィ御嶽と同様である。

御嶽を出る前に、ウーンマ・アークシィンマ・ウーンマヌトゥムが横一列になり掌を上を受けて、掃除が無事終了したことと感謝の旨の祈願を行なう。

一旦ウハルジィ御嶽に戻り、祭祀用の荷物を車に積んで、ナイカニウタキに向けて出発する。この時刻、10時25分頃。

<祭祀儀礼場所④> ナイカニ御嶽 午前10時30分～11時0分頃

10時30分頃到着。掃除時間短縮のため、5・6人の班長を先発隊にしてナイカニ御嶽入り口から東側の道に被さる草木を伐採させていた。また、ナイカニ御嶽では前日(7月16日)に「アーンウパチィ」(粟の御初)の祭祀儀礼が行われ、御嶽入り口から、神庭を掃除したので、時間は要しなかった。

また、ナイカニ御嶽前の道を隔てた広場は草が生い茂っていたが、ここは担当であるナナムイヌ

ウヤ（七杜の親）が、既に掃除しきれいにしてあった。ともあれ、ここでの祭祀儀礼も記すことにする。

ウーンマを先頭に御嶽内に入る。神役は御嶽内の神庭でイビに向かいしゃがむ。左側からウーンマ・アグシンマ・ウーンマヌトゥムが横一列になり掌を上を受けて、掃除の許可とそれを始める旨の祈願を行なう。

ナイカニ御嶽には香炉が2個ある。ウーンマは手で香炉周辺から掃除を始める。香炉周辺は鎌や草切り機などを用いてはならない決まりになっている。アグシンマとウーンマヌトゥムは神庭周辺の草を引き抜く。切り取った草木は、御嶽周辺に捨てる。

ナイカニウタキヌ ブンビシブドゥイ（仲間御嶽）

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 1, うふないかいうどう<br>うちゃうぬ ぬっすどう<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ   | 大ナイカニを<br>御帳の主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう |
| 2, ばかばう がなっすどう<br>んぬちいぬ ぬっすどう<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ | 若王加那志を<br>生命の主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう |
| 3, んなぬはぬ<br>うふゆぬしい<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ            | 午の方の<br>大世主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう    |

カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 1, うふないかいうどう<br>うちゃうぬ ぬっすどう<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ   | 大ナイカニを<br>御帳の主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう |
| 2, ばかばう がなっすどう<br>んぬちいぬ ぬっすどう<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ | 若王加那志を<br>生命の主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう |
| 3, んなぬはぬ<br>うふゆぬしい<br>なやぎゅーらでい<br>にがいゆ あがらさ            | 午の方の<br>大湯主を<br>名揚げよう<br>願いを揚げよう    |

4, ひゃーじいがん だやじい ぬしい なやぎゅーらでい にがいでいゆ あがらさ	比屋地神 畑の主を 名揚げよう 願いを揚げよう
5, ういらむい ういかぬしい なやぎゅーらでい にがいでいゆ あがらさ	ウイラ杜 オエカ主を 名揚げよう 願いを揚げよう
6, かんむどう なーぎー やぐみゅー なーぎー なやぎゅーとうい にがいでいゆあがらさ がんにじゅうさうまい どうゆじゅーさうまい ぶいでいしい はーたーよー にがいでいゆあがらさ ちいむすり んみすり やくみゅー なーぎゅーらー やぐみゃー なーぎー かんばな とうゆまさ	神を名揚げ 神を名揚げ 名揚げよう 願いを揚げよう 頑丈さをも 胴強さをも 祝おう お婆さんたち 願いを揚げよう 肝を揃え胸を揃え 神を名揚げよう 神を名揚げ 神上(最高神)を鳴響まそう

午前11時頃に掃除終了。掃除終了、ウーンマは字長と昼食をどこで摂るかと相談した。字長がトゥクガンミ御嶽での掃除終了後が適当でしょうということで、それに従った。

神役は車に乗り、ウツヂイキ御嶽に向かう。ウツヂイキ御嶽はナイカニウタキの東方にあり、徒歩で約4分。

<祭祀儀礼場所⑤> ウツヂイキ御嶽 午前11時05分頃～11時30分頃

ウツヂイキ御嶽での掃除時間短縮のため、ここも5・6人の班長を先発隊にしてウツヂイキウタキ入り口から西辺中学校側の道に被さる草木を伐採させていた。

ウーンマを先頭に御嶽内に入る。神役は御嶽内の神庭でイビに向かいしゃがむ。左側からウーンマ・アーグシンマ・ウーンマヌトゥムが横一列になり掌を上を受けて、掃除の許可とそれを始める旨の祈願を行なう。

ウツヂイキ御嶽にも香炉が2個ある。ウーンマは手で香炉周辺から掃除を始める。アーグシンマとウーンマヌトゥムは神庭周辺の草を引き抜く。切り取った草木は、御嶽周辺に捨てる。

ウツヂイキウタキヌ ブンビシブドゥイ

1, うっちいきぬ ウツヂイキの

あぢいぬしゅーゆ	按司の主を
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさー	サーサー
ささがよーぬよ	ササガヨーヌヨ
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさゆいさがゆいさー	サーサユイサガユイサー
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
2, びっしむい	広瀬杜
かりゆしいぬしい	嘉例吉ぬしを
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさー	サーサー
ささがよーぬよ	ササガヨーヌヨ
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさゆいさがゆいさー	サーサユイサガユイサー
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
3, しらかぶーぬ	白川湾の
くみぬぬしい	米の主を
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさー	サーサー
ささがよーぬよ	ササガヨーヌヨ
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさゆいさがゆいさー	サーサユイサガユイサー
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう

1 節目、ウーンマが踊る。2 節目、アークシィンマが踊る。3 節目、ウーンマヌトゥムが踊る。それから、神願いに入る。神願い終了後に、「カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ」がある。

カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ	
1, うっちいきぬ	ウッチィキの
あぢいぬしゅーゆ	按司の主を
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさー	サーサー
ささがよーぬよ	ササガヨーヌヨ
なやぎゅーらよ	名揚げよう
さーさゆいさがゆいさー	サーサユイサガユイサー
にがいゆ あがらさ	願いを揚げよう
2, びっしむい	広瀬杜

- |               |             |
|---------------|-------------|
| かりゆしいぬしい      | 嘉例吉ぬしを      |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさー          | サーサー        |
| ささがよーぬよ       | ササガヨーヌヨ     |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさゆいさがゆいさー   | サーサユイサガユイサー |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう     |
| 3, しらかぶーぬ     | 白川湾の        |
| くみぬぬしい        | 米の主を        |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさー          | サーサー        |
| ささがよーぬよ       | ササガヨーヌヨ     |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさゆいさがゆいさー   | サーサユイサガユイサー |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう     |
| 4, にしびしゅーが    | 西銘主が        |
| うふやぐみ         | 大神          |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさー          | サーサー        |
| ささがよーぬよ       | ササガヨーヌヨ     |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさゆいさがゆいさー   | サーサユイサガユイサー |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう     |
| 5, かんむどう なーぎー | 神を名揚げ       |
| やぐみゅー なーぎー    | 神を名揚げ       |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさー          | サーサー        |
| ささがよーぬよ       | ササガヨーヌヨ     |
| なやぎゅーらーよ      | 名揚げよう       |
| さーさゆいさがゆいさー   | サーサユイサガユイサー |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう     |
| 6, がんじゅーさうまい  | 頑丈さをも       |
| どうゆじゅーさうまい    | 胴強さをも       |
| ぶいでいしい はーたーよ  | 祝おう 姥たちよ    |
| さーさー          | サーサー        |
| ささがよーぬよ       | ササガヨーヌヨ     |
| ぶいでいしい はーたーよ  | 祝おう 姥たちよ    |

さーさゆいさがゆいさー

サーサユイサガユイサー

にがいゆ あがらさ

願いを揚げよう

神役3人が踊った後、ここで「カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ」をインギョウンマ（隠居母が一人ずつ皆の前に出て踊るが、ここではインギョウンマがいなかったため、踊りはなかった。

午前11時28分頃に掃除終了。終わると、ブンビシをかたづけ、トゥクガンミ御嶽に向かう。

<祭祀儀礼場所⑥> トゥクガンミ御嶽 午前11時35分～12時2分頃

ウツヂイキキ御嶽から今度は西に向かう。ナイカニ御嶽の前と通り過ぎ、午前11時35分ウツヂイキ御嶽に到着。ナイカニ御嶽は、ウツヂイキ御嶽とトゥクガンミ御嶽のほぼ中間の位置にある。

生除最後の場所であるが、暑さと疲れがピークに達している。そのため動きが遅くなっている。ここにも5・6人の先発隊（班長達）がいたが休んでいた。

ウーンマを先頭に御嶽内に入る。神役は御嶽内の神庭でイビに向かいしゃがむ。左側からウーンマ・アグシィンマ・ウーンマヌトゥムが横一列になり掌を上を受けて、掃除の許可とそれを始める旨の祈願を行なう。

トゥクガンミウタキにも香炉が2個ある。ウーンマは手で香炉周辺から掃除を始める。

アグシィンマとウーンマヌトゥムは神庭周辺の草を引き抜く。切り取った草木は、御嶽周辺に捨てる。

カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1, とくがーんみ     | トゥクガ一嶽  |
| うふやぐみ         | 大神を     |
| なやぎゅーらでい      | 名揚げよう   |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう |
| 2, いちいぬぬしい    | 風の神     |
| うふやぐみ         | 大神を     |
| なやぎゅーらでい      | 名揚げよう   |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう |
| 3, まんちいぬしい    | 真道主     |
| うふやぐみ         | 大神を     |
| なやぎゅーらでい      | 名揚げよう   |
| にがいゆ あがらさ     | 願いを揚げよう |
| 4, かんむどう なーぎー | 神を名揚げ   |
| やぐみゅー なーぎー    | 神を名揚げ   |
| なやぎゅーとうい      | 名揚げよう   |
| にがいゆあがらさ      | 願いを揚げよう |
| がんにゅーさうまい     | 頑丈さをも   |

どうゆじゅゝさうまい	洞強さをも
ぶいでいしい は一た一よー	祝おう お姥さんたち
にがいゆあがらさ	願いを揚げよう
ちいむすり んみすり	肝を揃え胸を揃え
やくみゆー なーぎゆーらー	神を名揚げよう
やぐみゃー なーぎー	神を名揚げ
かんばな とうゆまさ	神上(最高神)を鳴響まそう

12時02分頃に掃除終了。終了後、弁当の配布。班長達は道端に座り、弁当を食べる。班長の仕事はここで終了となる。借りた草刈り機等は個々人で返却する。神役達は、弁当を食べずに、莫塵や筵をかたづけるため、ウハルヂイ御嶽に車で向かう。莫塵や筵をかたづけると、ウーンマヤーに戻る。

<ウーンマヤー⑦> 午後1時頃

ウーンマ・アグシィンマ・ウーンマヌトウムはイチィバンザー(一番座)に横一列にトゥクヌヌカン(床の間の神)に向かって座る。「タウテー(尊い)」と発語してから一口飲み、掌を上に向け祈願してから、茶を飲むチャーユーイをする。

トゥクヌヌカン(床の間の神)に、本日の祭祀儀礼が無事終了したことを報告し、感謝の祈願をする。祈願終了後は、祭祀用具を洗って、干したりする。

アグシィンマとウーンマヌトウムはしばらく休憩し、落ち着いたらそれぞれ帰宅する。

## 8. 最後に—— 一つの考察として

ここで、夜籠り儀礼以外のサウヂィ(掃除)が先立つ祭祀名をみてみたい。

<サウヂィ(掃除)が先立つ祭祀名>

- ・フツビューイ(大日撰り。アービューイともいう。粟の収穫祭)
- ・ユークイ(世乞い)

フツビューイ・ユークイ共に大きな祭りである。フツビューイは、粟の収穫祭で村を挙げての祭りである。現在2日間であるが、かつては3日間行っていたという(注④)。祭祀日数の短縮理由は不明。3日間に亘る祭祀だったことから大きな祭りであったことが伺える。フツビューイは夜籠り儀礼は伴わないが、もしかすると夜籠り系の祭祀やユークイ祭と同様夜籠りをしていたのかもしれない。夜籠りはしないが、フツビューイヌサウヂィはフツビューイの前日までは、まさにサウヂィ・精進の期間であったのだろう。

祭祀歌謡の観点から一つ疑問をあげておきたい。巡拝する御嶽は、全部で5か所ある。そのうちの3つでは、「ウタキヌ ブンジシィブドゥイ」と「カグニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ」が謡い踊られる。二つの歌は共に、内容的に重複する。つまり、その御嶽に祀られる神を謡っている(神名揚げをしている)。ウハルヂィ、ナイカニ・ウツヂッキ御嶽である。但し、ウツヂィキ御嶽での音曲のみが他の御嶽と違う。

残りの二つの御嶽、即ちヤマトウ・トゥクガンミ御嶽では、「カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ」だけが謡い踊られる。

片一方では、神願いの前後で謡われ、もう一方では神願いの後で謡われる。何故、このように謡われたのか(注⑥)。その理由は神役も知らない。

それから、イビに供物を供える神役も異なる。ウハルジイ・ヤマトウ・ナイカニ・ウジイキ御嶽では、ウンマとナカバイの二人が供えたが、トゥクガンミ御嶽では、アーグシィンマとナカバイの二人である(ナカバイはこの時不在)。神役は、「荒いところはアーグシィンマが(供えを)行う」と説明するが、どうだろうか。いずれにせよ、上記の二点は今後の課題となる。

#### 注

注① 『琉球国由来記』(1713年)の沖縄や八重山では、祭祀のことを「日撰」と表記している。

「日撰」は宮古の方言では、ピューイもしくはヒューイである。

狩俣方言ではピューイ。狩俣では、旧暦6月に行われる粟の収穫祭を「アービューイ」と発音している。「アービューイ」は「ナチビューイ」(夏日撰り)とも称している。「アービューイ」・「ナチビューイ」は、「アーブー」・「ナチブー」とも発音され、音の短縮化の変遷をみせている。

注② ウンマヤーを祭祀儀礼の場と捉えることにする。その理由の一つとして、家での儀礼は欠かせてはならない、という神役の意識にある。もうひとつは、ウンマヤーを村人は村の御嶽と同格と考えているからである。

注③ 神役達は、祈り前と祈り後の踊りを単に「ブンビシブドゥイ」といつているが、ここでは仮に「〜ウタキヌ ブンビシブドゥイ」と「カギニガイヌ ユーイヌ ブンビシブドゥイ」と区別する。

注④ 平成19年度(2007年)の字長(仲間さん。屋号・ナカインジャウ)の「記録」では以下のようになっている。この「記録」は次年度の字長のために作成したものである。

集合期日：7月22日(日)

集合場所：ウハルズウタキ(大主御嶽)

集合時間：午前8:00

参加者：ウンマ・アーグスンマ・トゥムンマ・字長・各支部班長

本年度17歳(数え年)、高校1年生。

準備道具等：草刈り機(5台=小学校、参加者持参)、混合油、竹箒、手ノコ、鎌(各自)、軽トラックに水タンク(500リットル)、脚立、チェーンソウ、手押し車(四輪)。

その他準備：飲料水用水缶(5缶)、飲み物(5ケース)、冷却用氷(500円分)、飲料水用氷(5袋)、弁当(参加人数分)、クーラーボックス(大2)。

注⑤ フッピーイには、筆者の小学校低学年の頃は、学校が終わるとランドセルを背負ったまま、すぐにナイカニ御嶽へ歩いていき、神酒(コメの神酒)をいただき飲んだ。現在は、神酒を小学校に持って行き飲ませているようだ(2016年)。

注⑥ 「フッピーイヌ サウジィ」には行かないが、サイヌハ・ンマヌハ・ユキダキ・アガイジャーの各御嶽(村の御嶽である)でも祈願後に踊る。